

## VIII 水稲酒「縁の舞」の特性と栽培上のポイント

# 「縁の舞」栽培の手引き



「縁の舞」の成熟期の草姿  
（「島系酒78号」（旧試験系統名）が「縁の舞」）

2022年8月25日品種登録

令和4年12月  
島根県農業技術センター

# 1 「縁の舞」の品種特性表

品種名・系統名	縁の舞	改良雄町との比較	比) 改良雄町	参) 山田錦
早 晩 性	早生		早生	中生
草 型	穂重型		偏穂重型	偏穂重型
出穂期 (月・日)	8.12	2日程度早い	8.14	8.18
成熟期 (月・日)	9.24	1日程度早い	9.25	10.03
稈 長 (cm)	86.4	ほぼ同等	86.8	93.4
穂 長 (cm)	20.9	ほぼ同等	20.8	19.5
穂数 (本/m <sup>2</sup> )	285	少ない	348	350
脱 粒 性	難	同程度	難	やや易
耐 倒 伏 性	やや弱	やや優れる	弱	弱
葉いもち抵抗性	弱	やや劣る	やや弱	やや弱
穂いもち抵抗性	弱	やや劣る	やや弱	やや弱
穂 発 芽 性	やや難	優れる	易	易
玄米重 (kg/10a) <sup>1)</sup>	560	多い	488	490
比較比率 (%)	115	15%程度多収	100	100
玄米千粒重 (g)	28.7	2g程度重い	26.7	27.5
検 査 等 級 <sup>2)</sup>	1等下	やや優れる	2等上	2等上
心白発現率 (%) <sup>3)</sup>	92.3	やや低い	96.8	87.5
心 白 率 (%) <sup>4)</sup>	69.3	低い	81.5	64.2
調査年次・試験条件	2012～2021年 5月上旬移植 施肥窒素量6kg/10a			
調 査 地	農業技術センター下赤名ほ場 (飯石郡飯南町下赤名)			

<sup>1)</sup> 玄米重は粒厚2.0mm以上の水分15%換算

<sup>2)</sup> 検査等級は特上、特等(上,中,下)～3等(上,中,下)、規格外の14段階 (日本穀物検定協会調査)

<sup>3)</sup> 心白発現率は(心白発現粒数/調査全粒数)×100により算出

<sup>4)</sup> 心白率は心白の大きさにより大、中、小、無に区分し、(大×5+中×4+小×2)÷(調査全粒数×5)×100により算出

## 2 「縁の舞」の品種特性

### ①熟期

- 「改良雄町」と比較し、出穂期は2日、成熟期は1日早い
- 「山田錦」と比較し、出穂期は6日、成熟期は9日早い
- ◎ 「山田錦」の栽培が難しい山間部での栽培も可能！

品種名	縁の舞	改良雄町	山田錦
出穂期（月・日）	8.12	8.14	8.18
成熟期（月・日）	9.24	9.25	10.03

※2012～2021年 飯南町下赤名 5月上旬移植

### ②生育

- 草型は穂重型
- 脱粒性は難

品種名	草型	稈		芒		粒着 密度	脱粒 性
		細 太	剛 柔	多 少	長 短		
縁の舞	穂重	やや太	中	稀	短	中	難
比) 改良雄町	偏穂重	中	中	中	中	中	難
参) 山田錦	偏穂重	やや太	中	無	—	中	やや易

- 稈長及び穂長は「改良雄町」と同程度

☆穂数が少なくても収量が多い品種なので茎数を過剰にしないように管理

品種名	縁の舞	改良雄町	山田錦
稈長（cm）	86.4	86.8	93.4
穂長（cm）	20.9	20.8	19.5
穂数（本/m <sup>2</sup> ）	285	348	350



「縁の舞」の成熟期の草姿（左3条：「改良雄町」 中4条：「縁の舞」 右3条：「山田錦」）

### ③収量・品質

■収量は「改良雄町」「山田錦」

より 15%程度多収

■玄米千粒重が重く粒が大きい

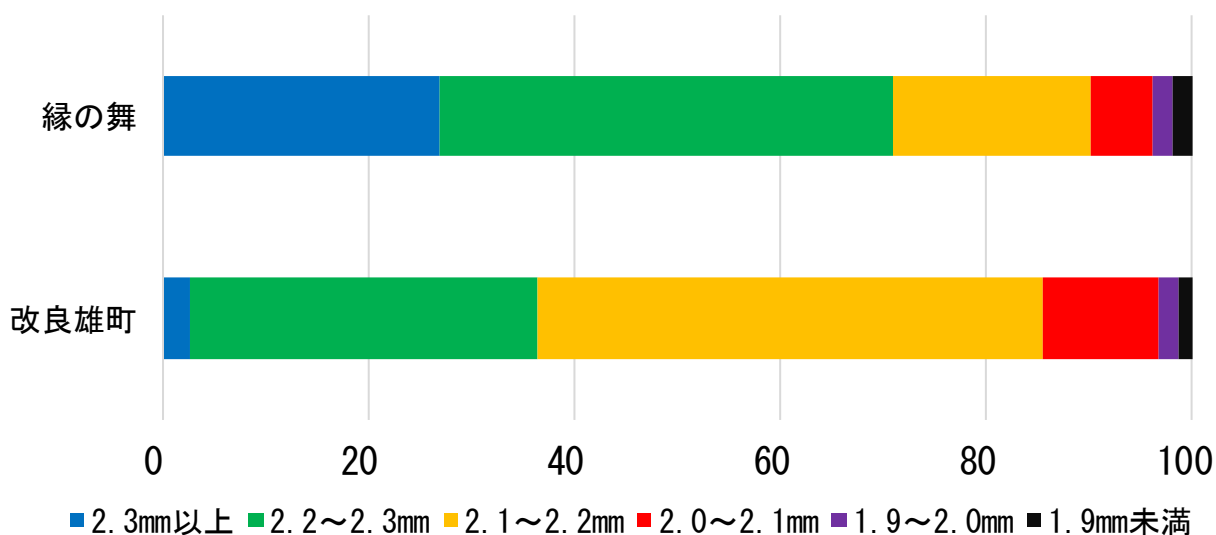
■検査等級は良好

品種名	縁の舞	改良雄町	山田錦
収量 (kg/10a)	560	488	490
比較比率 (%)	115	100	100
玄米千粒重 (g)	28.7	26.7	27.5
検査等級	1等下	2等上	2等上
心白発現率 (%)	92.3	96.8	87.5
心白率 (%)	69.3	81.5	64.2



「縁の舞」の玄米と心白 (左:「縁の舞」 中:「改良雄町」 右:「山田錦」)

■心白の出方は「山田錦」に近い



「縁の舞」の玄米粒厚分布 (2017年 奥出雲町)

■粒厚の厚い玄米の割合が極めて大きい

## 県産酒米の1等以上比率の推移

年産	縁の舞	改良雄町	山田錦
令和1年	57.0	65.7	34.0
令和2年	80.1	56.3	20.1
令和3年	46.8	52.1	59.2
平均	61.3	58.0	37.8

※農林水産省公表値

### ④精米特性

■高度精米時の砕米率が「山田錦」より低く、大吟醸用の精米も十分可能

品種名	玄米 千粒重 (g)	白米 千粒重 (g)	見かけの 精米歩合 (%)	真の 精米歩合 (%)	無効 精米歩合 (%)	砕米率 (%)
縁の舞	28.23	10.93	34.81	38.70	3.89	3.07
比) 山田錦	26.39	10.62	35.06	40.24	5.18	5.18

注1 2017年中山間地域研究センター水稲奨励品種決定調査のサンプルを使用

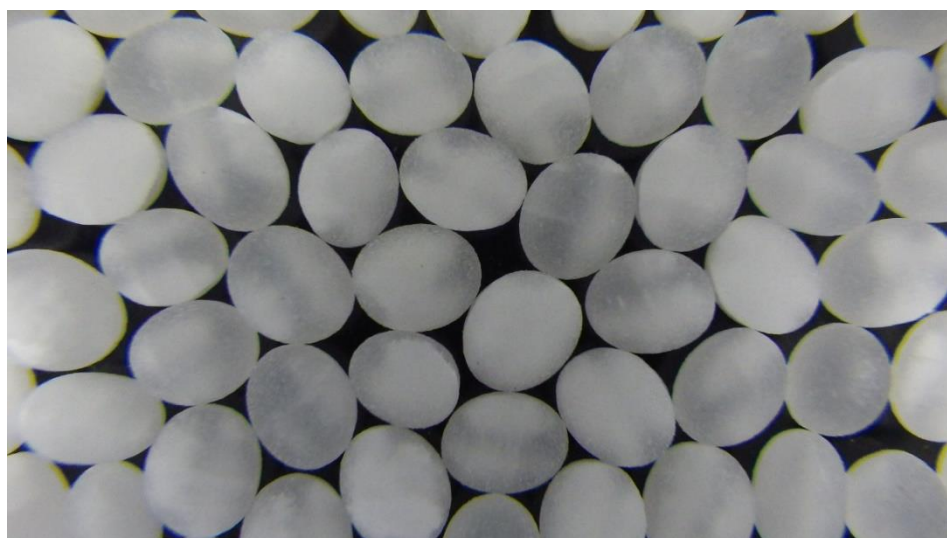
注2 千粒重は水分13.5%換算値

注3 見かけの精米歩合(%)=(白米重量÷玄米重量)×100

注4 真の精米歩合=(白米千粒重÷玄米千粒重)×100

注5 無効精米歩合(%)=真精米歩合-見かけ精米歩合

注6 砕米率(%)=((精米後試料採取重量-整粒重量)÷精米後試料採取重量)×100



35%まで磨いた「縁の舞」

## 2 「縁の舞」の栽培方法

### ①土づくり

- 土づくり肥料の施用と稲わらの腐熟促進に努める
- ケイ酸・苦土含有資材の施用により登熟が向上するとともに胴割粒が少なくなり精米時の碎米率が低下（2018～2019年島根県農業技術センター試験結果）

### 胴割粒発生防止対策技術

試験区	胴割粒比率（粒数比%）			
	2018年		2019年	
	成熟期	10日経過	成熟期	10日経過
熔リン区	0.8	1.0	0.5	1.0
対照区	1.2	1.6	1.8	3.5
差	0.4	0.6	1.3	2.5
t検定	n. s	*	*	**

\*, \*\*はそれぞれ5%水準, 1%水準で有意

#### 熔リン(粒状熔リン)保証成分

ク溶性燐酸20.0% ク溶性苦土12.0% 有効ケイ酸20.0% アルカリ分45.0%

☆「佐香錦」において、粒状熔リン60kg/10aの基肥施用により、胴割粒の発生防止に効果が認められた。

### ②播種・育苗

- 発芽や発芽揃いは良好で、育苗時のトラブルは少ない品種
- 他の品種より苗が太く、葉の幅が広い
- 浸種の水温は13℃以上で積算温度は100℃
- 催芽をしっかりと確認して播種する
- 1箱当たりの播種量は乾粃で120g（催芽粃で150g）

### ③肥培管理

- 地力に応じた施肥が重要 基肥－追肥体系施肥を基本とする
- 幼穂形成期の適正な葉色 カラースケール：4 SPAD：35 前後
- 出穂期の適正な葉色 カラースケール：4～4.5

#### 窒素施肥量の目安

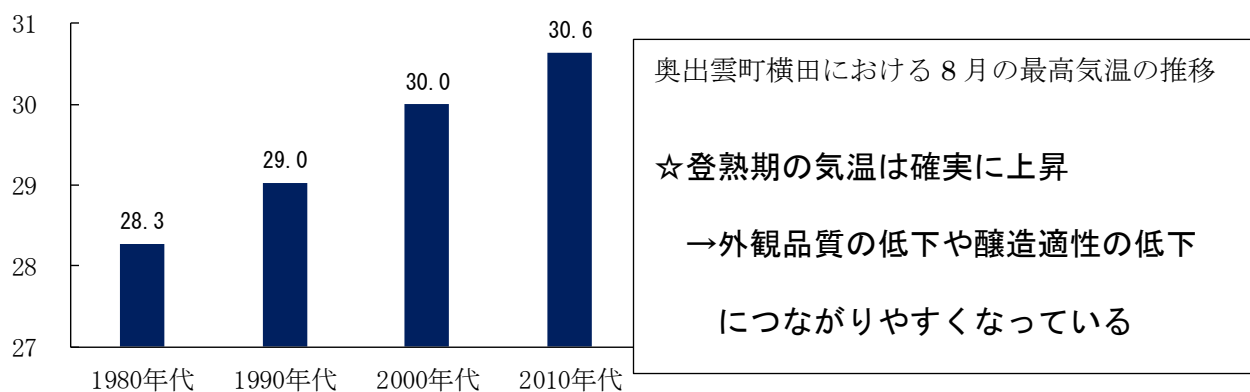
基肥 (kg/10a)	穂肥① 出穂18日前 (kg/10a)	穂肥② 出穂10日前 (kg/10a)	合計 (kg/10a)
3.0	1.5	1.0～1.5	5.5～6.0

◎窒素施肥量が多すぎると生育が過剰となり倒伏しやすく、籾数が過剰となり登熟歩合が低下し玄米が小粒化。玄米タンパク質含有率が高まり醸造適性が低下しやすい

### ④移植

- 移植時期は5月中旬を基本とする

・早すぎると過剰生育や有効茎歩合が低下しやすく登熟期も高温となる



- 栽植密度は1坪当たり50～60株とする

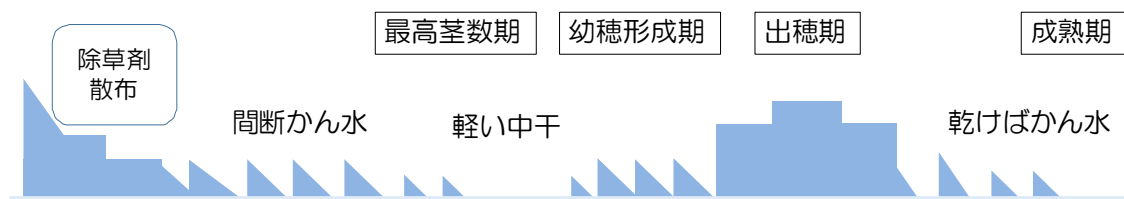
・条間30cm 株間18～21cm 株間が広すぎると生育量が確保しにくい

- 1株苗数は3～5本

・1株苗数が多すぎると細茎になりやすい

## ⑤水管理

- 根の発達を促し活力を保つための間断灌水を徹底
- 常時湛水より間断灌水のほうが、根の元気度が高く収量・品質とも優る
- 出穂後の早期落水は下葉の枯れ上がりにより倒伏しやすくなる



## ⑥病害虫防除

- いもち病防除を徹底
  - ・ほ場抵抗性は葉いもち、穂いもちともに弱
  - ・育苗箱施薬、穂ばらみ期、穂揃期に必ず防除
- 紋枯病防除も重要
  - ・紋枯病は葉鞘を枯らし稈を支える力を半減させる→倒伏しやすくなる
  - ・登熟期の生葉数を減らす→登熟低下、収量減少
- カメムシ防除を徹底

## ⑦適期収穫・適正な乾燥調製

- 刈り遅れは胴割粒の発生を助長 青味粳率 10～15%が収穫適期
  - ・酒米は大粒であるので刈り遅れると胴割れしやすい
- 急激な乾燥を避け水分 15%に仕上げる
  - ・酒米は大粒であるので、急激な乾燥により胴割れしやすい
  - ・乾燥速度を低下させる目的でテンパリング(間欠)乾燥を行う
- 肌ずれしない粳摺りと丁寧な調製